

小學作文書 卷三

明治十九年

小學作文書 卷三 目錄

P 1A1

11

Sa 25

教育諸大家序	
第一夜	空気の話
第二夜	孝子の話
第三夜	其子の話
第四夜	其子の話
第五夜	其子の話
第六夜	親の深切なる
第七夜	親子の情愛の
第八夜	月と星の話
第九夜	其子の話
第十夜	衛生者の話
第十一夜	品行者の貴い話
第十二夜	化学者の話
第十三夜	地球の話
第十四夜	世界の話
第十五夜	世界の話
第十六夜	世界の話
第十七夜	世界の話
第十八夜	世界の話
第十九夜	世界の話
第二十夜	世界の話
第二十一夜	世界の話
第二十二夜	世界の話
第二十三夜	世界の話
第二十四夜	世界の話
第二十五夜	世界の話
第二十六夜	世界の話
第二十七夜	世界の話
第二十八夜	世界の話
第二十九夜	世界の話
第三十夜	世界の話
第三十一夜	世界の話
第三十二夜	世界の話
第三十三夜	世界の話
第三十四夜	世界の話
第三十五夜	世界の話
第三十六夜	世界の話
第三十七夜	世界の話
第三十八夜	世界の話
第三十九夜	世界の話
第四十夜	世界の話
第四十一夜	世界の話
第四十二夜	世界の話
第四十三夜	世界の話
第四十四夜	世界の話
第四十五夜	世界の話
第四十六夜	世界の話
第四十七夜	世界の話
第四十八夜	世界の話
第四十九夜	世界の話
第五十夜	世界の話

# 新小學作文書卷三目錄

口上書類 九十六則

一學校授業始知せの口上	一人を招く口上
一同返辭	一同返辭
一入學依頼の口上	一物を贈る口上
一同返辭	一同返辭
一入學知せの口上	一試験日知せの口上
一同返辭	一同返辭

一筆墨を贈る口上 三 一書物の價を問合す口上 九

一同返辭 三 一同返辭 五

一卒業を祝する口上 三 一仕立物を頼む口上 五

一同返辭 七 一同返辭 九

一書籍を借る口上 七 一醫師を頼む口上 五

一同返辭 九 一同返辭 六

一米價を問合す口上 七 一病氣見舞の口上 六

一同返辭 七 一同返辭 六

一頼み置し事と問合す口上 六 一學校へ同行を頼む口上

一同返辭 六 一同返辭

一時計を直しに遣る口上 六 一種紙注文の口上

一同返辭 七 一同返辭

一馳走になりし禮の口上 七 一書籍を返す口上

一同返辭 七 一同返辭

一轉居知せの口上 七 一人の安否を問ふ口上

一同返辭 七 一同返辭

一 欠席届を托する口上

一同 返 辭

一 物品を預くる口上

一同 返 辭

一 他出を告ぐる口上

一同 返 辭

一 留守依頼の口上

一同 返 辭

一 見本を取りに遣る口上

一同 返 辭

一 歸宅を告ぐる口上

一同 返 辭

一 茶を贈る口上

一同 返 辭

一 機織女雇依頼の口上

一同 返 辭

一 雇人を頼む口上

一同 返 辭

一 代金催促の口上

一同 返 辭

一 夜學を催る口上

一同 返 辭

一 出水見舞の口上

一同 返 辭

一 體操を勧むる口上

一同 返 辭

一 火事見舞の口上

一同 返 辭

一 代價送金の口上

一同 返 辭

一 生糸相場問合せの口上

一同 返 辭

一鎮守祭ニ人を招く口上

一大風見舞の口上

一同返辭

一同返辭

一忘と物を届くる口上

一提灯を返す口上

一同返辭

一同返辭

一開店知せの口上

一傘を返す口上

一同返辭

一同返辭

一開店悦みの口上

一紙を注文する口上

一同返辭

一同返辭

一汽車發着時間問合せの口上

一祖父の賀筵ニ人を招く口上

一同返辭

一同返辭

卷三下

日用書類

五十二則

一年賀の文

一神武天皇祭遙拜を促す文

一同返辭

一同返辭

一新年宴會ニ人を招く文

一暑中見舞の文

一同返辭

一同返辭

一寒中見舞の文

一同 返 辭

一歲暮の文

一同 返 辭

一入學依頼の文

一同 返 辭

一入學を報する文

一同 返 辭

一入學を祝する文

一同 返 辭

一試験日を報する文

一同 返 辭

一筆墨を贈る文

一同 返 辭

一及第を祝する文

一同 返 辭

一病氣見舞の文

一同 返 辭

一醫師を頼む文

一同 返 辭

一米價を問合す文

一同 返 辭

一書籍を返す文

一同 返 辭

一書物の價を問合す文

一同 返 辭

一仕立物を頼む文

一同 返 辭

一仕立物催促の文

一同 返 辭

一頼置―事を問合す文

一同 返 辭

一穀物種子交換の文

一同 返 辭

一農具注文の文

一同 返 辭

一樹木植繼問合せの文

一同 返 辭

一農繁人を雇ふ文

一同 返 辭

一機具注文の文

一同 返 辭

一機織女雇入依頼の文

一同 返 辭

新小學作文書卷三目錄終

新小學作文書卷三上

齊藤真英著

口上書類

○明日

○學校授業始知せの口上

授業

明日より小学校の授業お

○授業始

同 返 辭

御知セ

明日授業始めのうへに知らせ

たされ有り難く存じます

忤事入學

○入學依頼の口上

都合○伺

忤事迄より入學致させ度

少部合取の度

子息

○同返辭

就學

諸子見は就學の儀は是より

同道

なり早速同道は系統お

成度

○入學知らせの口上

小生

小生より本日より何れ校へ入學

致さるは知らせし上

昨日○入門

○同返辭

友人

昨日小學校へ入門のうへに

ふ預り目もな存

友人

○人を招く口上



○會合クワイガウ  
アヒ

○即刻ツムコク  
グス ○來ライ

駕ガ  
デ オイ

○仰オフセ ○參上サンジヤウ

ル アガ

○些少サセウ  
スコ

○進呈レンテイ  
ル サシアゲ

○拜受ハイジユ

○定期試験テイキシケン

キマリノ  
シケン

○日割ヒワリ  
シケンビ  
ノキメ

○報導ホウダウ  
セラ

友人五三名今合致居りて付

時刻は事知るやとれ度

○同返辭

仰の趣よりて事知るやとれ度

ル アガ

○物を贈る口上

此品些少なり進呈仕るは

御下

○同禮

美事の品は贈りしは事知るやとれ度

とね受仕候

○試験日知せの口上

明日より定期試験お始より申

とね受仕候

○同返辭

試験日割は報導とれ度

たぐ存

○筆墨 ヒツボク

○筆墨を贈る文

○到來 タウライ モライ

此筆墨到來に任せて後に入れ

○御覽 ゴラン オンメン カケル

中

○結構 クワカウ コキ

○同 返 辭

○筆墨 ヒツボク

結構なる筆墨はあつてよく使

あつかう存

○昨日 ○定期 サウジツ テイキ

○卒業を祝する口上

試験 ケンケン キマリノシ

昨日定期試験にて尋常小

○尋常小學 ジン ジャウ ショウガク

科は卒業の目出度存

ナミノノ  
ガクカウ

○同 返 辭

○卒業 ソツゲツ

此度は尋常小學校卒業

○此度 コノタビ  
コン

とて是れより下され有り難く存

○悦 ヨロコビ

○書籍を借り口上

○近頃 チカゾロ  
キンジツ トオナジ

近頃出板の作文書少く採

○出板 シユツパン  
ウリ グス

借仕なり

作文書

拜借

申越

价

米相場

何程

此地

上米

頃日

直段

本店

四冊

裕

同返辭

申越の作文書は使は渡

一覽に入れ申越

米價を問合す口上

當今米相場此地は何程

裁可なり

同返辭

此地の相場は上米より金壹圓

に何斗何升なり

書物の價を問合す口上

頃日出版の作文書は直段何程

裁可なり

同返辭

本店發行の作文書は四冊より金

何錢よりなり

仕立物を頼む口上

○仕立 シタデ タチヌヒ ノコト

○頼 タノミ

○注文 チウモン タノム コト

○明日 ○時刻 メウニチ ユウコク

○出来 クレガタ シユツタイ マデ

○不快 フクキ

○足勢 ○来診 ソク ラウ ライシン

○午後 キデミテ モライタシ

○参上 サンシヤウ

○不例 フレイ コ、ロモ チアシ

○微恙 ビヤウ フクハイト ユフニ全シ

○快方 クハハウ コ、ロヨ キカタ

○安神 アンシン コ、ロモチ フヤスメル

○休息 キウイ 同

○同 返 辭

○同 返 辭

○同 返 辭

此給の由に仕立を頼む

注文を頼む

○同 返 辭

明日の時刻に出来

不快

○醫師に頼む口上

足勢、来診

午後

○同 返 辭

参上

不例

○病氣見舞の口上

微恙

快方

○同 返 辭

安神

休息

神を祀る

○依頼 イライ タノム

○頼み置し事て問合す口上

○事件 ジケン コト

先日、依頼する事件は何

相成りてお目やり

○決定 ケツテイ キマル

○同返辭

○確答 カクタク シカトキ

此申托より、今は何時に決

申托 ヘル モウシタクシ

定付へらる

○時計 トケイ

○時計を直しに遣す口上

○直 シコト ナホシ

此時計を直しに遣す口上

○同返辭

○承知 シヨウチ

此時計を直しに遣す口上

○一両日 デキル

中に出来はるる

○馳走の禮の口上

○昨夜 サクヤ

昨夜は強く、馳走を来る

○参館 サンクン

かたくな

走ソウ

○同 返 辭

○來駕ライガ  
テ オイ

昨夜より来がしき其由を伴

○草々サウイ  
フトリア  
ツカヒノ

○轉居知せの口上

○都合ツカウ  
○移イ

都合より暇何所何處地へ

轉テン  
ウツル  
コト

引移狀

○報道ホウダウ  
シラ  
セル

○同 返 辭

○轉居テンキヨ  
イテンニ  
オナジ

今夜は轉居のしき

少時中居る

○入校ニフ  
コウ  
ガクカウニ  
イルコト

○學校、同行を頼む口上

○同道ドウダウ  
イツシヨニ  
ユクコト

本日より入校、同行を頼む口上

○願ネガヒ

ひな

○午前ゴゼン  
マヘ

○同 返 辭

○同伴ドウハン  
ドウダウ  
ニオナジ

明日午前八時に同伴はるへ

○立寄タチヨリ

明日午前八時に立寄り

○福島フクシマ  
チメイ

○種紙注文の口上

蠶種紙カヒコ  
メネガミ

福島種紙の注文

○到着 タウチャウ キタ コト

○裾分 スソワケ

○注文 ○貴 チウモン キ

价 カイ オツカヒト ユフニ全シ

○此程 コノホド コノアヒダ ト云フニ全

○拝借 ハインヤク カリル コト

○書物 ○畧儀 シヨモツ リヤクギ

○使 ツカヒ

○用立 ヨウタチ カス コト

○返却 ○領 ヘンキヤク カヘス リヨウ

收 シウ ウケトル

○近頃 チカゴロ コノセツ ト全シ

○疎遠 ソエン ウトシ シキコト

○容體 イヨウダイ ヤウスト オナジ

○近來 キンライ チカゴロ トヲナシ

健康 ケンカウ スコヤカ ナルコト

此分ち下され度也

○同 返 辭

稱紙使はし抄を以てし書家  
下され度

○書籍を返す口上

此は拝借の書物畧儀  
使はし返す口上

○同 返 辭

書を用ふ何事迄  
お礼に願ふ度也

○人の安否を問ふ口上

先頃以来お体  
如何に哉お伺ひ

○同 返 辭

先頃以来健康に相成り  
以安神に努む

○本日 ○欠

席 ○先生 ○

執

○敬承

○校長

○要心

○品物 ○迷

惑 ○預置

○大切 ○入用

○返

却

○他出

○用事 ○上

京

○急速

○欠席届を托する口上

本日欠席は身先先生就

ろく執りなすれ候

○同返辭

沖冬席の趣敬承付直振

校長へ此届申上る

○物品を預る口上

此品物迷惑おし此致し

トされ及

○同返辭

此大切の品物預り申入

用の品は此迄おし入る

○他出と告る口上

少く用事出来本より上京

仕り候

○同返辭



○用事ヨウジ○用ヨウ急遽の用向ヨウと本日キョウジツ上京

向ムキ○承知シヤウチの承知シヤウチは

○小生シヨウセイワタ○留守依頼の口上

他行タギヤウヨソヘユ留守ル○心ココロ多々タタ定の成は心算を頼ひやう

留守ル○心ココロ同返辭

添ゾクツケル○不在フザイルスノ○

諸事シヨウジ○注意チウイい諸事注意はるゝ

見ケン今般コンパンコノタビトオナジ

○發明ハツメイ○拝ハイ見本と取りに遣す口上

○同返辭

○本店ホンテンワタクシミセ

○貴价キカイオツカヒ

○御覽ゴランオメニカケル

○小子セウシワタクシニオナジ

○歸宅を告る口上

○十一

以爲生活之新根據

同返辭

此宵此瑞饋之味也

何に在るかに能く達する

下は痛み入

茶戰贈る口上

白雲新采忘輕少な

即此境入此中風味

下生後

○同返辭

澤山古直校下

我れあり難く存す

○機織女雇入依頼の上に

新宅之機織女十五名歲學

著十人  
斗り玉包を  
降る

百有餘年之遠矣、古語云

セワト  
全ジ

され度共

○心當 ココロアタリ  
チヤウド  
ヨカラシ

○同 返 辭

トオモ  
フモノ

機織女は雇成され度旨承知  
は其幸ひに當りて若しれ有候  
旨は周旋申度と云

○雇 ヤトヒ  
チカゴロ

○雇人を頼む口上

○無人 ブミシ  
ヒトノスク  
ナキコト

山頂無人 二ふり支を留は苦  
勞なりと云ふは傳ふれば夜

○苦勞 クラウ  
イライ

○依頼 イライ

タノム

此依頼ナリ

○用向 ヨウムキ  
オホセ

○同 返 辭

○繰合 クリアヒ  
サンジヤ

此無人 二付用向仰せらる

より難く候は候合と云ふは余

上仕るへと云

○定期 テイキ  
シケン

○夜學を催す口上

○間近 マナタ  
多シ

定期試験と間近く相成は付

○夜學 ヤガク

以曉より夜學お始申度尊意

以何を教ふ同

○御催○至極  
オシ モヨウシ シゴク

○同 返 辭

○同意○出席  
ドウイ シツゼキ

マイル

唯候より教ふは僅一のより  
志せられあり難く存るも極  
同意を召必出席の仕

○體操○運動  
タイサウ ウンドウ

○體操を勧むる口上

○放課  
ハツクキ マリノ  
ジカンゴ

○有志  
ノコ イウシ

運動を為放課時限り體操  
會おし一志有志を以て

出場を以て

○健康  
ケンカウ スコヤカ

○同 返 辭

○體操會  
タイサウクワイ タイ  
サウ

○至極  
ラスルヨ シゴク  
リアヒ

教課時限り體操會は僅  
のより至極同意を以て

○注文  
チウモン アツラヘ  
ルコト

○代價送金の口上

○代價  
タイカ ネダン  
ノコト

○郵便為替  
イウビン カハセ

○落手  
ラクシエ

過般送金より何の代價金  
何國郵便為替より送金  
を以て落手とされたり

○只今冬イ 多イ到着到着

マイリタ  
ルコト

○領掌レウシヤク  
ルコト

○過日クハジツ  
テ

○計算ケイサン  
ウノコ

○都合ツカウ  
セニオナ

○送附ソウブ  
コシ

○物品フツピン  
モノ

○出水シュスイ  
ミズノ

○霖雨リンウ  
ガナ

○嚙々サツク  
心

○推察スササツ

○同返辭

何品代價金何圓只今到着  
領掌此致此言ナキ

○代金催促の口上

昌百圓ト有品物代金  
計算の款合も出れありま  
る送金やれ取致

○同返辭

先以送附品及品物代價  
係ハ部便る事ト送金  
ナリ

○出水見舞の口上

此程の霖雨と殊に地  
出水と起々ハ能ハ  
り致仕

○同返辭

○當地方タウチ

○早速サツソク  
ハヤク  
トイフ

○見舞ミマヒ  
ミマヒ

○昨夜○近邊サクヤ  
キンビン

○尊ソウ  
ソウ

○類ル  
ル

○焼セウ  
ヤケル

○近所○拙宅キンジョ  
セツタク

○驚入アトヲキイッ

○生糸キイト  
ネラヌ

○地オンチ  
アナタノ  
トコロ

○報知ホウチ  
シラセ

○本日ホンジツ  
ケフ

○市チ  
キンド、アツマ  
リテ、モノヲ、ウルバ

○上物ジョウモノ

當地方に洪水が湧き出た

早速に知らせた

見舞いをする

○火事見舞の口上

昨夜は近邊より火災尊館

に類焼の被害が及ぶを敬告する

○同返辭

前晚より出火致し拙宅

に焼く事となりて甚だしく

被害が及ぶにあり難く存す

○生糸相場問合の口上

此地に生糸相場を問合する

に何れも注意を要する

○同返辭

本日市に上場するもの

は何れも注意を要する

○例年 レイネン マイネン トイフニ

○當村 オナジ タウソン

鎮守祭 チンジュサイ ムラノ マツリ

○御子供 オコドモ

○夕刻 ユウコク バンカタ トイフニ

○參館 オナ サンカン

シヤウトイフニオナ ジ。又マイルトイフ ニモオナジ

○鎮守祭の人を招く口上

昨日の例年、通當村鎮守祭  
の御子供は連立夕刻より  
來駕下さりたり

○同返辭

此例は村方鎮守祭より  
招かれ、且難く存候仰  
せり、刻より參館仕り候

○昨夜 サナヤ バン

歸宅後 キタクゴ オカヘ リノア

○取落 トリヲトシ

賢兄 ケンケイ アナタ

○邪魔 ジヤマ

速 ソク スグニトイフ ニオナシ

○御送り オク

落手 ラクシユ ウケトリニ オナジ

○忘れ物を送る口上

昨夜は歸宅後此品を取落  
し候あり、且多分賢兄に  
と存せられり、且此品より

○同返辭

此品は此品、且少生  
し、且此品より、且此品  
難く存候仕り

○私事 ワタクシコト

○移轉 イテン ヒキコシラ スルコト

○何業 ナニゲウ ナニノ アキナヒ

○相營 アヒイトナミ エイゲウ ヲハジメ

ルコト

○開店 カイテン ミセビラ キラスル

○目出度 コト メデタク

○開店知せの口上

私事来ん何日何所何當地

轉宅致し何業お營せしめ

此致意知しをせしめ

○同 返 辭

来る何日何所何當地に於て開

店何業せしめふのり目出度

致し

○簡易 カンイ ミヤス キトイ

○理化 リキワ

○器械 ガクノキ トクワ

○販賣 ハンバイ

ウリダシ

○今般 コンパン コノタビ トイフニ

○營業 エイゲフ

○引立 ヒキタテ

○開店悦びの口上

と致何所に於て開店簡易

理化器械販賣し

當店概定し此致意知しをせしめ

○同 返 辭

今般何處に於て開店理化學

器械營業せしめ此致意知しを

難く當店立し此致意知しを



○大風見舞の口上

○今曉 コシケツ ケフノア ケガタ  
○尊宅 ソシタク オヤ シキ  
○御障 サベリ

と曉ハまゐり大風ニ見交  
沙尊宅より御障りほせな  
る哉此のいしなり

○暴風 ボウフウ アラキ カゼ

○同 返 辭

○小破 ハコウハ スコシノ ヤブレ

此の暴風より小破ハこれ

○無事 ブジ ナニゴト モナキ

ありけり先より多しの方より

○御氣遣 コト キゾカヒ

するはまゝお遣われり哉

○參館 サンクワン サンジャ ウニオナ

○提灯を返す口上

○丁寧 テイネイ

昨夜ハ系船より丁寧ニ

○饗應 キョウウ アウ モテ ナシ

夜無事より難く申すお供

○拝借 ハイシヤク

提灯畧儀お使し

○提灯 テウチン

返すは

○落手 ウケ トル

○同 返 辭

○御草々 サウイ カマ ハザ

昨夜は用より提灯御

○挨拶 アイサツ

袖より正々お尋ねした

等々の要は所々の出候様  
入

○先刻 センコク  
サキ  
ホド

○傘返す口上

○夕立 ユウダチ  
ニハカ  
アメ

先刻ハ夕立に候れは取魔

○大切 タイセツ  
大事ト云  
フニ全シ

付交は大切、傘返す口上

○傘 カサ  
リヤクギ  
儀

さし置き候へば略儀なり

スミマセ  
ヌガ

候へば返す口上

○御立寄 タチヨリ

○同返辭

○奉謝 ホウシャ  
レイヲ云  
フ

先刻は立寄に受大雨件

○慥 タシガ  
マサニト  
オナジ

さし置き候へば謝す口上

○受取 ウケトル

昨傘を返す候へば

○美濃紙 ミノガミ  
ミノ

紙

紙を注文する口上

○上等 ジョウトウ

かゝ入用之事、これあり候

美濃紙上等、千枚

○領承 リョウシヤウ  
シヤウ  
チトオ

此書、お事なす

ナジ  
○取揃

○同返辭

○御廻送

義濃紙子校以角一紙只

タウチキシヤ  
○當地汽車

今取揃、次第は四

ハツチヤク  
○發着

○汽車發着時間問合せ口上

ノコト  
○何回

當地汽車、發着は、何回

ナンド、云  
○

何時より始り、或は案内

フニオナジ  
不案内

何回、幾ら、或は案内

ハツチヤク  
○發着時間

○同返辭

デルトツクトノ  
ジカンノコト

當地汽車發着時間は、

ベツベツ  
○別表

通知は、即別表、通

コトヲ  
了解

通知は、即別表、通

リナ  
サイ

○祖父の賀筵に人招く口上

ツフ  
○祖父

祖父、今年耳順、お

ジシニ  
○耳順

お、耳順、お、粗

シシニ  
○耳順

お、耳順、お、粗

ノ祝ヲ云フ  
○御來駕

お、耳順、お、粗

同返辭

○年賀ネンガ六十ノ祝

○當年タウネンシト

○參賀サンガマイリテイハフ

神祖父様 當年 耳 明 記  
為成 成 親 ひと 一 拍 子 以 前  
り 三 三 難 必 免 答 不 能

新刻 小學作文書卷三上 終

書狀認方

表

國郡村番地  
何某殿  
切手 要用

裏  
國郡村番地  
何某

方令封筒ヲ用ユ  
ル多キヲ以テ此  
式ヲ示ス郵便切  
手貼用方ハ封狀  
ノ目方二枚マテ

新刻 小學作文書卷三下

齊藤真英著

日用書類

日用書類を授くるは口上書類と授  
けられた同く先其用向きの旨趣を  
講明して日用書類を認むるの心を  
起さしめ次に熟字を示して生徒に

二錢四匁マデハ  
四錢以上ニ多ク  
増スゴトニ二錢  
ヲ加フ又書留ト  
テ丁寧ナル取扱  
ヲ為ス方アリ書  
留手数料トシテ  
切手六錢ヲ貼用  
スレハ郵便局ニ  
於テ書狀ノ請取  
書ヲ出ス此場合  
ニ於テ書狀ノ紛  
失シタルトキハ  
郵便局ニ於テ辨  
償スルヲ例トス  
又端書ノ認メ方

往復文を作らむへー但其行文は  
平穩ふーて簡明なることを要す

### ○年賀の文

新年ニハ祝儀目金及中納尊  
殿等ニ多ク祥吉起業照会ニ至  
る候次ニ宜許一同多事ニ年  
起ル候中ニハ安否及中納尊  
先ハ年始ニハ祝詞中ニ及ぬ此

ハ左ノ如シ  
表

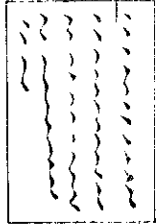
住所 住所  
宛名 差出人

○郵便はきき

此所ヲ汚ストキハ罰則ニ宛テラ  
ルハナリ

裏

一切所用ノ文字ヲ書入ベシ



○新年宴會  
月

五日ノ宴  
○朋友  
ハウイッ  
ヲ云フ

此所ニ謹言

### 同返辭

改年ニハ慶賀とて早ニ書  
面ニ送り易ク先以テ皆様  
萬福ニ歳主トシテ喜々存  
隨ニ拙宅ニ有テ愛加年仕ル条ニ  
外ニハ此休社ニ有テ友ニ年  
始ニ祝辭ト云フと云フ

○新年宴會

○朋友

五六輩ゴロクハイニ。御ミ

貴臨ヒリン オイデト云  
フニオジ

○折簡セツカン テガミト  
同シ

○參館サンクワン オタク  
ニマイル

ト云フ ○拜復ハイフク  
コト

オヘン

○神武天皇祭ジンムテン ワタサイ

四月三日 エウハイ  
ノコト ○遥拜

神武天皇ノレイ

ヲハルカニオガ  
ムコ ○參詣サンケイ マヒ  
リマ

ウデ ○徒行トカウ カチ  
ニテ

ユクコト徒歩モ  
全シ

○芳墨拜讀ハウボクバイドク オ  
テ

ガミヲミタ  
ルコト ○

誘引イウイン サソヒ  
ノコト

○新年宴會に人を招く文

拝啓今より新年宴會と健言  
と有朋友五六輩お集り少宴と開  
きあるに貴臨われより大慶と至  
こ此致す

○同 返 辭

新年宴會と有能く折簡と預  
り有難くお仰たに是ハ夕刻より

余館仕る處くお召す承知下  
されなれお復

○神武天皇祭遥拜と促す文

お啓本日神武天皇祭と有集  
神社にお集り為る所の致言  
も此より同伴は度々板道  
下り度々徒行より候り此致す

○同 返 辭

○罷出マカリイデ○得意トクイ

○拜酬バイシウ○オヘン

人祖ジンソ神武天皇ノコト

○酷暑コクシヨシヨチウノコト

○清廻セイテキコキゲンヨクト云フ如シ

無恙アヤウツ、ガナシ

○氷砂糖コホリサトウ○

些少サセウスコシバカリ

○笑留セウリウオウケクダサレト云

フニ全ジ

○慮外リヨグイ○放念ハウネン

ゴシンパイナキヤウニト云フコト

○見事ミコトヨロシキ

御贈ヲクリ○挨拶アイサツ

○靖泰セイタイコキゲンヨク

芳墨お讀人祖神大祭

付某神社より此を讀む

此は引く此は引く此は引く

此は引く此は引く此は引く

此は引く此は引く此は引く

○暑中見舞文

酷暑の候貴家並に清廻大祭

此は引く此は引く此は引く

此は引く此は引く此は引く

此は引く此は引く此は引く

此は引く此は引く此は引く

此は引く此は引く此は引く

○同返辭

貴命より此を暑中見舞に

靖泰欣幸に此を讀む

此は引く此は引く此は引く

○嚴寒 ゲンカン カンチウ ノコト

○御壯榮 ソウチイ コサカン ト云フニ

○無異 ムイ カハ

○粗末 ソマツ

○懸御目 サシ アゲ

○叱置 シツチ

○オトリ

○書面披見 シヨメン ヒケン テオ

○珍重 チンチュウ ヨロ

○無事 ムジ ナニゴト モナク

○好物 コウブツ ヨキモノ

○惠投 ケイトウ クダサレ ト云フニ

○訪問 オナ ハウモン ミマ

○シ

下よりてくぬおしめを頼むてい

中より品を贈るに示存此品也

挨拶より一より此品を介する

後

○寒中見舞の文

敬寒の候はは壮榮候賀と至

る存次り第屋一同無異お慶

むるお慶意下より至る此品粗

末ながら中より此品を介する

お目無き此品を介するお慶

○同返辭

御書面披見は是は壮榮候賀と至

る存次り第屋一同無異お慶

むるお慶意下より至る此品粗

末ながら中より此品を介する

お目無き此品を介するお慶

惠投は是は壯榮候賀と至る



○貴酬キシク オヘン ジ

○歳晚サイバン トシノ クレ

○御清勝セイショウ ゴ丈夫 ト云フ

ニオ ○御厚情カウジギ

オテアツ ○大口タ

ノコト 魚名 ○受納ジュノウ

ウケラ サノ

品有人を任せ申候はし斗ふ  
此等物より少

○歳暮ノ文

歳暮に及ひて是れ新年の清勝候  
折る玉、此等物、新年内、行  
此等物と蒙り多難く存候様  
此等大口魚二尾歳暮に  
此等玉と此等物と受納

○貴命キメイ セオホ

○歳末サイマツ トシノ スエ

○懇情コンジヤウ セハニナ ルコト

○鯉節一箱カンホフシ ヒトハコ

○留置リウナ 前ニ 出ヅ

○拜眉ハイビ オメニカ、 リテト云フ

○草叙サウジヨ アライ ノブル

此等物と蒙り多難く存候様  
此等大口魚二尾歳暮に  
此等玉と此等物と受納

○同 返 辭

此等物と蒙り多難く存候様  
此等大口魚二尾歳暮に  
此等玉と此等物と受納  
此等物と蒙り多難く存候様  
此等大口魚二尾歳暮に  
此等玉と此等物と受納  
此等物と蒙り多難く存候様  
此等大口魚二尾歳暮に  
此等玉と此等物と受納

○豚兒 トシジ フツ、カ  
ノコドモ

ト云フ ○満六歳 マンロクサイ

ト云フ ○入學 ニラガク カクカウ  
ニイルコ

ト云フ ○依頼 イライ タノ  
ム

○御令息 レイソク ゴシ  
ソク

ト云フ ○學齡 ガクレイ

ト云フ ○學齡 ガクレイ

○萬 マン

○午前九時 ゴゼンクジ

○弊屋 ヘイラク ワタク

○小生 セウセイ ワタ

○貴兄 キケイ ナ

○昨日 サクジツ キケイ

來陽お眉こゝより書へるなり

○入學依頼の文

豚兒儀満六歳にお成る所本  
より入學校をせよとある  
不案内、付此指圖にて本人を  
お連れし、此紙にてお返し  
右紙に於て此紙を返し

○同返辭

此令息は歳學齡に成る所本  
より此就學校にて入學する  
此依頼に依りて入學する  
授業始まるる午前九時に  
弊屋、此處にて入學する  
事

○入學を報する文

中生儀昨日何學校に入學

愛國に貴兄を同級に編入せ

咸  
由  
骨  
之  
後  
所  
以  
引  
至

人非草木孰能無情

依款付銀

○同返辭

牛欄坡讀吟  
金何學校  
庚午年

漏其菁何級、以編入商牘

殊々小童と  
同教書

別命親度

拍賣

○入學を祝する文

市多是松明山學堂

由月出及海平生此者必

廿七 九月 廿七 日 廿七 日 廿七 日

了未敢母家痛此書物既

駢字類編

○同返辭

墨客風流

過ス賛サン  
御ホメ辭ユトバ  
○

結構書物に祝ふに殊に留意す

頂戴  
テウダイ  
イタク  
コト

以辭頂戴却與摩入中夜夢

愚鈍  
ヲロカト  
云フコト

通玉璽紙者乃咸業紙

セイゲノ  
成業  
ゲフノナ  
リシク

定身古くは志願に任世執

クウクワイ  
教誨  
オシヘ  
イマシム

學校を以て爲海軍を振

○  
謹啓  
ミゲ  
ホ

○試験日を報する文

學期 ○ 施行

謹啟本學期卒業試驗之儀

ジ シ  
マ ケ  
ル ン  
コ ノ  
ト ハ

○

来ん何日より秘行名を教官

準備 ジシビ  
ユト ヨウイノ

より通達されりぬ

○ 報ホウ道ダウ  
ルシユラトセ

都立女子大学

○卒業試験

青溪雜詠  
什  
八  
首

○同返辭

華雲寺碑末の款より卒

○ 平 臥 ヘイグワ  
ル コ ト ネテイ

業誠懇如好義題以報知己

○取調 トリシタ シタヨミ  
ヲスルコ

ト

○近來 キンライ  
チカ  
ゴロ

御疎遠 ソエン  
オトウ  
シキコト

○深謝 シンシャ  
フカク  
アヤマ

○筆墨 ヒツボク  
デ

○支那 シナ  
クニ  
ノ名

○輕微 ケイビ  
スコシ  
モノ

○疎濶 ソクワ  
ソエン  
オナシ

○書簡 シヨカン  
テガミ  
ト云フ

○結構 ケツカウ  
キ

○惠贈 ケイゾウ  
クオ

○結 ケツ

○リクダサレト

○云フニオナシ

有難く存る友三言以蒙より云  
分平外海を以て成丈の調誠  
お愛を標致す等々云々

ふ次

○筆墨を贈る文

近來疎遠を以て成丈の調誠  
なりぬ此書を以て友人某  
支那より持歸るもの由り

貴人より種微なる一箱送  
呈仕る用い下されり云々  
云々云々

○同返辭

見よりいふに疎濶なる如  
く懇切に書簡に致す殊に  
按る筆墨深山に於て下  
り此致す等々云々

拜趨 イヌウ サンジャ  
ウニオナ

シ フシセツ  
切ネン  
ゴロ

○及第 キウダイ シケンニ  
一級ヲノ

ボル イウトウ  
デキ  
コト

ノ衆人ニスグ ヒツ  
レタルコト

○畢 キヨウ  
ツマ  
ヘイソ

○御勉強 ツネ  
ベシキヤウ

○今後 コンゴ  
ハツタツ

○丁寧 テイネイ  
ガシ

○及第 イハヒノ  
キウダイ  
コトバ

○昇級 シヤウキウ  
ノボル  
コト

課業 カダフ  
ヒビノ  
コシ

却ル キヤク  
コマ  
ケウジ  
シ

○刻苦勉強 コククベンレイ  
イクル

テット ドウテイ  
ヨウ  
ルコト

○疎濶 ソクワツ  
ゴブ  
サタ

迎へ拜趨と云々謝す此は拝皮

○及第を祝ふ文

此は一定試験を満ち

以及第殊に優等と目出

度極に畢竟不意に勉

存に及ぶと云々益々

今後仕へお具

○同返辭

○同返辭

復原少くも試験に及

る儀と云々達一定に

及ぶと云々何分課業

に及ぶと云々何分課業

に及ぶと云々何分課業

に及ぶと云々何分課業

に及ぶと云々何分課業

早返辭

○御不例 フレイ ゴフク

○御氣色 オナ キシヨク

○攝 ゴヤウダイ セツ

○生 セイ ヤウジヨウ トオナシ

○肝臟 カンヅウ 体中ノ器

○銘肝 メイカン アリガタ キコトノ

○病氣見舞の文

お啓を来し誅瀾と承れ  
不例より御氣色如何  
日不煩候と旨折角と  
と極端一と承れ  
と此に承れお具

○同 返 辭

去月来肝臟病と承外

○快方 クワイホウ コハロヨ

○癒 ユ マツタク ナホル

○代筆 ダイヒツ ビヤウチウ ユヘニ他人

○代 代リテ

○家父 カフ ワタクシ

○胸痛 キヨウツウ ムネノ

○劇痛 ゲキツウ イ

○醫師と頼む文

家父より昨夜俄に胸痛と承  
お伏せより時々劇痛お具

ミノハナハダ  
シキコト  
カッテ  
来診

オマハリミタテ  
ト云フコト

尊大人  
ソノタイジン  
ゴッ  
ンブ

ト云フニ  
御病  
オナシ

氣  
即刻  
スグ

参殿  
サンデン  
サン上ニ  
オナシ

水薬  
スミヤク  
ミヅガ  
スリ

困難能存玉勝  
来診  
此  
二

同返辭

尊大人  
此  
水薬  
此  
二

魚く味持味

此程  
コノコロ  
トオナシ

景況  
ガイキヤウ  
アリサマト  
云フコト

模様  
モヨウ  
ス

詳細  
シヤウサイ  
クワシクト  
云フコト

報道  
ホウダウ  
シラセル  
コト

米相場  
コメ  
サウバ  
コメ  
ノネ

米價と問合す文

此  
米  
此  
二

同返辭



當地近有米市場上落之權

招此月一重光澤山之病相

別篇よりお取りなす。

吾輩其來之少也 吾輩其來之少也

方氏之於此書也

○書籍を返す文

過借用致何書永何

自由を奪はれぬ

と  
郷  
讀  
經  
り  
名  
使  
り  
て

返上中於又、  
泣、  
き、  
き、  
い、  
推、  
借、

什九穽

○同返辭

此紙適用五石書物速令此一覽

題 三 亦 返 之 即 於 未 一 頃 飯 畢

借回書以小生既讀了既矣

考され有るを何時も必要

要書を定めて書中越成る

へておる後

○貴店 キテン オミセト  
云フニオ

ナシ

○發行 ハツカウ  
シユツパン  
スルコト

○何割 カワリ

○書物の價と問合す文

今般貴店にて書物ある其  
著何書ハ定價何程にて百部以  
上求むるも何割位引下され  
か取合はたす數を以て按算  
ひきりお不

○弊舗 イハ  
ミヤシキ  
ミセト界

下ノ定價 テイカ  
サダ  
メノ

アタ相働 アヒハタラキ

何卒注文 ナニトゾ  
チウモン

購求 コウキウ  
コト

○反物の寸方 タンモノ  
スンハウ

書 ガキ  
仕立ノスン尺  
ヲカキタルモノ

○同 返 辭

此度弊舗にて出版はる書物  
文書ハ一部に定價何錢にて  
書數は購求あるに何割も  
お働きの上の中へ何卒注文  
文を何少なき希にお復

○仕立物を頼む文

此反物別紙寸方書し通り給ふ

○<sup>アハセ</sup>給<sup>キニヤ</sup> ○<sup>キセン</sup>汽車<sup>ジヤウケイ</sup>

汽船<sup>キセン</sup> ○<sup>ミヤコニ</sup>上京<sup>コログミ</sup>

○<sup>ダルコト</sup>心組

コ、ロモチト  
云フコト

○<sup>シキウ</sup>至急<sup>イソグ</sup>

○<sup>シタテモノ</sup>仕立物

○<sup>コクゲン</sup>制限<sup>東京ニユ</sup>  
クジコク

マデニト

云フコト

○<sup>ラウセイ</sup>調製<sup>コシラ</sup>  
ヘル

○<sup>イライ</sup>御依頼<sup>オタノ</sup>

○<sup>ヤクソク</sup>約束<sup>ヤクシテ</sup>  
キメタル

○<sup>コト</sup>差支<sup>サシツカヘ</sup>

○<sup>コンキヤク</sup>困却<sup>コマ</sup>  
ル

仕立物なるは度々何年後  
第一所考之乗車より上乗心  
組より日まきに同人令格殊  
くは新みやりりし

○同 返 辭

仕立物なるは度々何年後  
第一所考之乗車より上乗心  
組より日まきに同人令格殊  
くは新みやりりし

後何々何々何々制限に出  
来中何々何々

○仕立物催促の文

仕立物催促の文  
今以て仕立物催促の文  
支困部羅多百此使る者  
直に仕立物催促の文

○御注文 オウモン オアツ ラヘ

○御催促 サイソク

先刺 センコク リキホド、云フコト

○調製 テウセイ

多分 タブン オホカタト云フコト

○行違 ユキ チガヒ

○御海怨 カイジョ オユルシ

○先般 センバン サキゴロ

○同返辭

此程は又、は主君の御供に  
忌部、玉の御供に先刻  
御装束使、持せし上より  
多分、使、者、川違、る、  
せ、れ、お、好  
○頼置一事、問合す文  
甘、以、い、ま、る、音、以、海、怨、し、れ、る、

○事件 ジゲン コトガ

○模様 モヨウ

○前 ゼン

○途 ト

○御指揮 シキ

○御來駕 ライガ オイ

○御談示 タンジ

○昨今 サクコン タ、イ、マ、ニ オナシ

○同返辭

陳、先、般、依、影、も、多、る、件、は、近  
頃、以、何、に、様、様、に、有、て、裁、前途、  
方、向、お、言、な、る、何、分、に、は、指、揮  
お、作、り、お、宣  
○同返辭  
芳、墨、お、御、陳、も、此、人、有、て、本、が、  
い、ま、は、談、示、お、言、な、る、一、事、は、此  
今、相、談、中、と、お、言、な、る、内、に、確、

○相談 ハナシアヒ  
ノコト

○確定 シカト  
キマル

○米麥種子 コメムギ  
シユシ

タネ ○交換 カウクワン  
リ

カヘル ○收穫 シユウクワク  
コト

トリアガ ○投種 トウシユ  
リダカ

タネヲマ ○御同 ドウ  
クトキ

感 カン  
ト云フコト

○領承 シヨウ  
チニオ

ナジ ○曾テマ カッ  
ヘマ

カタト云 ○實 ジツ  
フコト

收 シラ  
トリアガ  
リノコト ○利

益 ○交換 カウクワン  
リ

カヘル ○試植 シシヨク  
コト

コハロミ  
ニウユル

お定る御事等付少くも猶豫  
なされ度と存じますお礼

○穀物種子交換の文

米麦種子と交換し收穫上利益  
され有趣取りお付試之為め  
地々米麦も今年投種の際  
交換仕度と同感あり早速  
に蓄選種並行し山此致す

同合意と存じます以候

○同返辭

此等御積米麦種子交換  
儀申越し趣領承小せし曾て  
より其種子と交換に利益上  
利益有るを由に存じます  
是れも交換試植後には  
先米麦種何れも送りお礼伏

○農具ノウダノウダ  
カウダハツマイノウダ  
ウグハツマイノウダ

○發明ハツマイノウダ  
アヲタニシヨウノウダ  
ツクルシヨウノウダ

○使用シヨウノウダ  
ツカフセイゾウノウダ  
コトセイゾウノウダ

○製造セイゾウノウダ  
シクシヨウサイノウダ  
ルシヨウサイノウダ

○詳細シヨウサイノウダ  
ビラケウシノウダ  
カニケウシノウダ

○教示ケウシノウダ  
フコトイネカリノウダ  
稲刈イネカリノウダ

○小店ワタクシノウダ  
ミセト云ミセト云ノウダ

○農具注文の文

採買取置ハ何者具此法  
農具此法極便利ニ起ル  
以て使用時宜ク製造  
且使用方等詳細ニ  
下ニ取置取入ル

○同返辭

此農具此法ハ稲刈道ニ

道具ドウグイネカリ  
トルキカイ

○敬承ケイシヨウノウダ  
ノコケイシヨウノウダ

○出来シユタイノウダ  
タマハルシユタイノウダ

○製造セイゾウノウダ  
デキセイゾウノウダ

○山林ヤマヤシノウダ  
サシリンヤマヤシノウダ

○購求カウキウノウダ  
カウキウカウキウノウダ

○樹木ジュモクノウダ  
ジュモクジュモクノウダ

○植繼ウエツギノウダ  
ウエツギウエツギノウダ

注文ニ起ル目今製造中

品ありて付置ニ  
出来直ニ以て送中  
不致致送中

○樹木植繼問合せの文

採買仕置小生  
數町歩何處ニ  
樹木等七少く

○不案内 フアンナイ ヨクシラ

ト  
ヌ  
コ

植継致衣甚ふ案内 宜旨植継  
適當之時候 指示お影 及ふ  
おと

○地味 チミ ギメン ノタチ

○膏腴 カウユ コヘテ ラル

○適當 テキタウ カナフ コト

○委細 イサイ クハシキ コト

○別冊 ベツサツ ベツノテ ウメン

○同 返 辭

此頃何村に於て山林數町歩  
買入る 同所ハ地味ハ膏腴  
ニあり 何樹最適當ナリ 植  
継ニ乗候ハ何月迄与能ク一

○田植 タウエ

○困却 コンキヤク コマル コト

○御繁多 ハンタ オイソガ シクアル

○御手傳 テツダヒ

○大幸 タイカウ オホヒニ シアハセ

○都合 ナコ ツガウ

○農繁ノ人 或雇ふ文

委細ハ別冊にて承知ナリ 及  
お度  
五三日以前より田植お掛り  
多ク人ニ困却ナリ 此等  
多クに際し又お度ハ法雇ふの  
三人 賃金大幸ニおとす  
む小生宅にお泊りハお度

京都台お伺ね也

○披見 ヒケン テカミラ ヒラキテ

○同 返 辭

ミル ○人夫 ニシブ ミン

古多紙披見仕る様も田植人

トノコ ○依頼 イライ タ

吏吏用より様は依頼より取

ミ ○小宅 セウタク ワタク シタク

公政より少宅よりいふ言ふある

○心組 コハクミ カンガヘ

ある心掛より公政より問ふ

シオナ

者三名只今よりある心掛

よりいふ使ひよりある心掛

○高機 シカハメ

○機具注文の文

何臺 ナシダイ イクダイト

お取人より盛業よりいふ様と

○一層 イツソウ ヒト

段様織業一層より取く盛業

心算 シンサン コハログ

段段心算より織織め数人お

ニオ ○機織女 ハタオリメ

段段上等より高機何臺より

ハタオリ

製衣よりお願な此段より取

製造 セイザク

より上より

○芳翰 ハウカン テガミ

○同 返 辭



機織業 ハタオリ

機具 キグ

注 ナツ

出 シユツ

来 ライ

木綿機 モメンバタ

適 テキ

當 タウ

芳翰を御陳へて来し様  
織業一層之を廣く来され  
旨を以て機具料を返還す  
趣願承仕る来ん何日より出  
来は因りや致く致渡  
○機織女雇入依頼の文  
今收中を以て本機料  
甚左増へて付織女数人を雇  
入は材方にて適當に人をも  
とむるに在り及給金も候ハ  
上より下へ依りて一先ツ一  
月何程を渡すに致す事  
○同 返 辭  
此書面控見して收織女料  
を雇入るに及趣願承仕  
る者材内も多分されし事

織手 オリテ

幸望ノ者 サヘイノガミ

ハタオリヲノソ

多分 オホク

ハタオリヲノソ  
ミナルモノ  
タダ  
アル

○早速 サツソク チキニ  
ニオ キ、アセ  
ナジ ○聞合

多岐川合流のやうな  
水も流れて金も入る  
次男も有る家も有る  
流るやうな水も有る

新小學作文書卷三下終

明治十九年三月三十日版權免許  
同 日 廿三年二月廿五日 印刷  
年三月一日 再版

者

齋藤真英 考

神田區五軒町二十番地

發行兼  
印刷者

牧野善兵衛

日本橋區通四町目七番地

東京吉川半七	長野西澤喜太郎
鴻巣長嶋為一郎	名古屋川瀬代助
長岡目黒十郎	大阪前川善兵衛